# (おおさきえきひがしぐちだい1) NO.16 大崎駅東口第1地区(組合施行)

#### 1 計画の概要

計画地は品川区大崎一丁目地内						
		本地区は、大井町-五反田を結ぶ都市軸の一部として位置づけられていることと、駅前という立地条件か ら、商業業務地区として整備する。				
計画の概要		公共施設の整備として、地区内区道を整理し、外周に区道をつくり、大崎駅への連絡として、立体歩行者道 路を設置する。また、目黒川の河川改修について用地の確保をする。				
		中水道及び地域冷暖房施設の導入により、省資源・公害防止対策を図る。				
地区面積	約3.0ha		構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		
階数		地上21階/地下2階	高さ	9 3 m		

## 2 都市計画の内容

名称	大崎駅東口第1地区 第一種市街地再開発事業			施行区域面積	約3.0ha		
		名称	幅員	延長	面積	備考	
		都市計画道路 環状第6号線	1 1 m 【2 2 m】	約202m		【 】は全幅員 整備済	
	_	品川区道第1号		約181m		新 設	
公共施設の配置	路	品川区道第2号	8 m	約162m	 	新 設	
及び規模		品川区道第3号	4~6m[6m] 一部8m	約200m	 	既存区道の一部拡幅	
	河 川	都市計画河川 第13号目黒川	16.7m [33.4m]	約165m	 	,	
	そ の 他	立体的歩道	1 0 m	約19m (総延長約30m)		環状6号線· 品川区道第3号線上	
建築物の整備	街 区	建ぺい率	容積率	建築物の 高さの限度	壁面の 位置の限度	主要用途	
	1	60%	600%		-	(高層部) 事務所、ホテル (中層部) 店舗 (低層部) 駐車場、中水道施設、地域 冷暖房施設、店舗	
	街 区	建築面積	延べ面積(	容積対象)	住宅建設の目標		
	1	約12,600㎡	約140,000m²(	約123,600㎡)	   	-	
建築敷地の整備		建築敷地面積		整備計画			
	1	約20,600㎡	周辺道路に接して 他公開空地として、 に接続する歩行者!	畐員2m以上の歩道ね 約7,600㎡、敷地戸 専用立体的通路幅員	犬空地及びその 内に立体的歩道 10m延長約7m	・人工地盤(2F屋上部分) に 公開空地約5,000㎡ ・駐車場の台数約410台	
都市計画決定	昭和57年12月2日 東京都告示1202号						

#### 3 高度利用地区

地区名	面積	容積率の 最高限度	建ぺい率の 最高限度	容積率の 最低限度	建築面積 の最低限度	
大崎駅東口 第一地区	<b>約</b> 3.0ha	600%	70%	200%	300㎡以上	5・7・9・15m (歩行者専用 立体的通路は この限りでは ない)
都市計画決定		昭和57年1	2月2日 東京都	告示1204号		

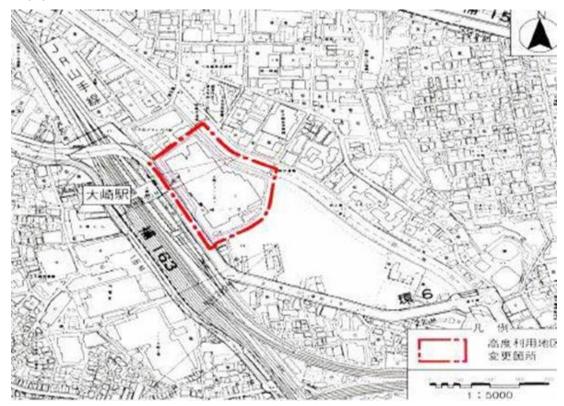
## 4 事業計画の概要

敷地面積	20,559 <b>m</b> ²	建ぺい率	5 9 %	
延べ面積	1 3 8 , 2 0 0 m²	容積率	608%	
	ホテル棟	住宅戸数	-	
用途	業務棟 地上20階	住七厂奴		
用逐	業務棟 地上20階	駐車場	412台	
	業務棟 地上21階	,		
事業認可	昭和58年8月8日 東京都告示第825号 昭和59年1月19日 東京都告示第39号(変更) 昭和61年1月16日 東京都告示第32号(変更)	総事業費	約352億円	

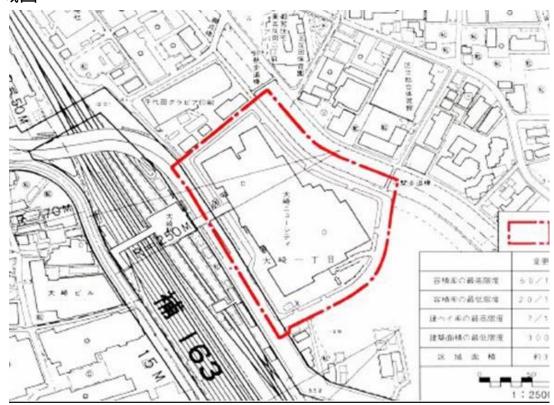
## 5 経緯

年 月 日	内容
昭和55年11月	4ブロック別協議会設置
昭和56年9月	大崎駅東口第1ブロック市街地再開発準備組合結成
昭和57年12月2日	都市計画決定·告示
昭和58年8月8日	大崎駅東口第1地区市街地再開発組合設立認可·公告
昭和59年1月19日	事業計画変更
昭和59年2月10日	権利变換計画認可·建築工事着工
昭和59年2月13日	権利变換期日
昭和61年1月16日	事業計画変更
昭和62年1月19日	完了公告
昭和62年8月12日	解散認可·公告
平成12年11月2日	高度利用地区の変更(品川区告示第263号)

## 6 位置図



#### 7 区域図



#### 8 完成写真

